受領　令和８年９月 28 日 23 時 48 分	通告番号（８）

令和８年９月 28 日

読谷村議会
議長　比　嘉　幸　雄　　殿

読谷村議会議員
大　野　隆　志　印

一 般 質 問 通 告 書

第 555 回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第 61 条第２項の規定により通告いたします。

質　問　要　旨	答弁を求める者
１　読谷村ふるさと納税の拡充と情報発信について （１）現在の寄附実績(そのうち村に残るお金はいくら？) （２）県内１位の恩納村の分析は？ （３）読谷村にも高額返礼があるがなぜ差がうまれるのか？ （４）県内１位と９位の差は？ （５）ふるさと納税10億円は可能か？ （６）PPA(Per Person Average)客単価¥99,00の差の分析は？ （７）同じ商品があるのに、約６倍の差はなぜか？ （８）年程度で10億円を目指すためにはKPIは必要と考えるが？ （９）寄付金だけに特化せずに、多岐に渡りKPIが必要と考えるが？ (10) 「恩納村に勝つ」という比較ではなく、恩納村の成功要因のうち、読谷村にも応用できるものは何かを分析することが必要だと考えるが？	